

研修 横田 誠 議員

日時: 平成28年10月28日(金)~10月29日(土)

場所: 秋田県民会館・秋田市にぎわい交流館

区間	交通手段		鉄道賃		特急急行	飛行機	その他	計
			キロ	金額				
佐野駅~小山駅~秋田駅	鉄道	往復	1,217.2	19,220	14,260			33,480
								0
								0
								0
計				19,220	14,260	0	0	33,480

宿泊料@16,500×1泊 16,500 円
 交通費 33,480 円
 (うち航空運賃 0 円)
 計 49,980 円

上記の金額は、佐野市職員等の旅費に関する条例及び佐野市職員等の旅費支給規則により算出した金額である。

議事課庶務係長 廣澤 良英



AA No. 466270

収入印紙



お客様コード 061011

平成28年10月28日

DATE

領収証 RECEIPT

佐野市議会議員

RECEIVED FROM

横田 誠

様

領収金額 THE SUM OF

73,500

但し FOR

大会参加費にて

上記金額正に領収致しました The above sum has been duly received.

発行者印



FORM OF PAYMENT	
現金 CASH	
小切手 CHECK	
銀行振込 BANK REMITTANCE	✓
ギフト券 GIFT TICKET	
クレジットカード CREDIT CARD	

東武トップツアーズ株式会社 秋田支店

秋田市山王町2丁目10番(コロビル1階) 電話018(806)0109(代表)

※クレジットカードによる領収(お支払い)の場合、印紙税法上の金銭又は有価証券の受取に該当しないため、収入印紙の貼付は不要となっています。

※金額や発行元などが、枠内に収まるよう、また重ならないように添付してください。

領 収 書

横 田 誠 様

¥ 1 , 0 0 0 -

ただし、両毛六市議員懇談会研修会出席者負担金として領収いたしました。

平成29年1月26日

両毛六市議員懇談会

会 長 宮 崎



領 収 書

横 田 誠 様

¥ 1 , 0 0 0 -

ただし、両毛六市議会議長会議員研修会負担金として
上記金額を領収いたしました。

平成29年2月1日

両毛六市議会議長会会長

足利市議会議長 黒 川 貫 男



日本女性会議 2016 秋田大会 報告書

1. 日時

平成28年10月28日(金)、29日(土)

2. 視察先

秋田県秋田市 日本女性会議2016秋田

3. 参加内容

○大会1日目

13:00 開会式

14:10 基調報告 内閣府男女共同参画局による男女共同参画に関する最新状況報告

15:00 記念講演 題目「違いこそが個性を作る、自信を作る、魅力を作る」

講師 藤原 美智子 氏

17:30 交流会

○大会2日目

9:30 分科会 第8分科会高齢社会

演題「ともに生きる喜びをはぐくむ高齢社会」

出演者 コーディネーター：東京大学高齢社会総合研究機構特任講師 後藤 純 氏

パネリスト1：NPO 法人蜘蛛の糸理事長 佐藤 久男 氏

パネリスト2：(株)秋田銀行経営企画部 池田 早紀子 氏

パネリスト3：秋田市福祉保健部長寿福祉課エイジフレンドリーシティー

担当課長 齊藤 恵美子 氏

14:15 シンポジウム

題目 秋田発「ケアリング（気遣いあう）」社会をめざして

～生活の場から「多様性」を考えよう～

出演者 コーディネーター：日本女性会議2016秋田実行委員会委員長

(秋田大学大学院医学系研究科教授)

中村 順子 氏



シンポジスト1：ケアーズ白十字訪問看護ステーション

統括所長

秋山 正子 氏



シンポジスト2：秋田県藤里町社会福祉協議会会長

菊池 まゆみ 氏



シンポジスト3：株式会社安藤醸造代表取締役社長

安藤 大輔 氏



4. 総括

2,000～3,000規模の大会ということもあり、秋田市全体が来場者をお出迎えしているまちの様子が伺えました。実際に参加者を見ても、全国各地から幅広い年齢の方が多数参加をされており、特に女性の方の関心の高さが伺えました。

男女共同参画社会の現状分析と今後の展望について教示いただいた基調報告から始まり、藤原氏の記念講演では男女を問わず、自分を認めることの尊さや個性差の尊厳について、実体験の基づいたお話であったこともあり、聴衆を惹きつける女性会議の幕開けとしてテーマに即した素晴らしい講演であったと思います。

また、分科会は10種の分科会に分かれて同時開催をされました。それぞれのテーマについては時宜を捉えた内容であったかと思えます。私は第8の高齢社会を選択し拝聴して参りました。主な内容は超高齢化社会の中で、高齢者の自殺や社会参加の在り方を背景とし、これらの問題を解決していく為に、秋田市や秋田市にある企業やNPOが行う、取り組みの現状や今後の課題についてパネルディスカッション形式で一つ一つのテーマについてパネリストが掘り下げていく、とても身近に感じられるディスカッションが展開されました。

最後のシンポジウムでも、実行委員長の中村氏の巧みな進行によって、秋田市での男女共同参画に関する諸団体の取り組みがとても分かりやすく、非常に感銘を受けたものとなりました。全体をとおして感じたことは、参加者の皆さんが非常に意識の高い人たちばかりであったことです。交流会で2019年佐野での女性会議の開催に向けてのPRをする中、皆さんが新しい情報を取りに毎年女性会議に参加されていることが分かりました。こうした方たちのお力もお借りし、佐野開催のPRを強化していくことや、2019年が日本の男女共同参画の中心は佐野市と言われるように、2017年苫小牧、2018年金沢と市としてどのように関わっていくのかもじっくり検討していくべきと感じました。

今回の秋田大会で得たことを生かし、男女共同参画推進の一助となれるよう努めて参りたいと思います。

5. 大会の様子

会場までの歩道



大会式典



交流会



会場エントランス

